



生協では、「地域」「社会」「環境」「人々」に配慮してモノやサービスを買うことを「エシカルなお買い物」と表現して、積極的に応援しています。6月と10月をエシカル消費月間と位置づけ、誰かの笑顔につながるお買い物を推進しています。



6月エシカル消費「環境」月間

6月環境月間には、ハーツでエシカルキャンペーンを展開し、Instagramにコープのエシカル消費対象商品を投稿する取り組みを行いました。組合員に身近な商品が環境に配慮されている商品であることと、エシカルの考え方について紹介しました。

FSC® 森の資源を守る



FSCの認証を受けた商品は、森林を守る基準に沿って森林を管理し、その森林の木で作られた商品を森から家庭まで確実に届ける管理をしています。



レインフォレスト・アライアンス認証



地球環境保全のために熱帯雨林を維持することを目的としています。SAN(サステナブル・アグリカルチャー・ネットワーク:持続可能な農業ネットワーク)の定める基準に基づいて認証されます。



MSC認証(海のエコラベル)

海の資源を枯渇させないよう、漁獲量や漁法・漁の時期・生態系などに配慮した漁業で獲れた水産製品です。



いのちの森商品 (KEEP THE GREEN マングローブ植樹活動)

インドネシア産ブラックタイガーの産地で、自然環境保全・持続可能な養殖事業をめざし、マングローブの植樹活動を行う取り組みです。



6月の環境月間にマングローブ植樹を応援する支援を行い、商品1点の購入につき1円を寄付しました。

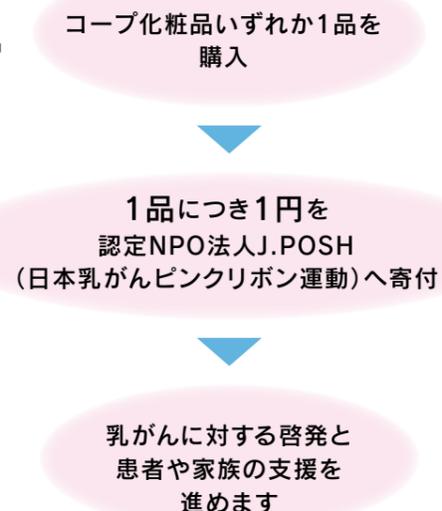


10月エシカル消費「社会貢献」月間

ピンクリボン運動



世界共通のピンクリボン月間である10月に合わせ、コープ化粧品で寄付を行いました。認定NPO法人J.POSH(日本乳がんピンクリボン運動)は全ての人に乳がん検査の必要性を啓発する団体です。コープ化粧品1品につき1円を日本乳がんピンクリボン運動として寄付し、J.POSHへの協賛を行いました。



ピンクリボンキャンペーンでは、職員と組合員に化粧品のマイスター「ビューティーアドバイザー」の育成を行い、職員・組合員30名が修了して登録を行いました。

CO-OP×レッドカップキャンペーン WFP

対象の商品1品につき1円が、国連WFPを通じて飢餓に苦しむ子どもたちに学校給食を届けるために使われます。2017年度からカンボジア王国に支援を行っています。児童の栄養改善、就学率、出席率の向上及びカンボジア政府による自立した学校給食運営のための人材育成を目標とします。



©WFP/David Longstreath

コアノンスマイルスクールプロジェクト

CO-OPコアノンロールシリーズ1パックの利用につき1円を、ユニセフを通じてアンゴラ共和国の「子どもにやさしい学校づくり」に寄付をしています。「人を育てる」「知識を伝える」ことを目的に教師を育成したり、「設備を整える」ことを目的に安全な水の整備やトイレの設置を行っています。



SDGsゲーム(2030SDGs)を開催しました

SDGsの理解を深めるために、SDGsゲーム(2030SDGs)を11会場で行い、普及啓発を行いました。「経済」「環境」「社会」のバランスや、エシカル消費の価値などを学ぶ機会になりました。

2019年度 11回 441人参加



■エシカル消費月間(環境月間)実績 単位(千円)

	宅配			店舗			全体		
	18年実績	19年実績	前年比	18年実績	19年実績	前年比	18年実績	19年実績	前年比
MSC商品	2,306	1,911	82.9%	336	978	291.1%	2,642	2,889	109.3%
FSC商品	8,174	8,134	99.5%	1,670	2,465	147.6%	9,844	10,599	107.7%
レインフォレスト・アライアンス認証	610	988	162.0%	196	476	242.9%	806	1,464	181.6%
その他環境配慮商品	3,108	10,725	345.1%	911	679	74.5%	4,019	11,404	283.8%
対象商品合計供給高	14,198	21,758	153.2%	3,113	4,598	147.7%	17,311	26,356	152.3%